

内閣総理大臣 安倍晋三、自民党総務会長 二階俊博様 各党代表、マスコミ関係各社宛

国際婦人年連絡会の声明

国際婦人年連絡会 世話人 山口みつ子
実生 律子
紙谷 雅子

アメリカ連邦議会上下両院会議における安倍首相の演説 および5月14日の「閣議決定」に対する抗議

国際婦人年連絡会（全国組織 35 団体）は、1975 年の国際婦人年以來、国連の提唱する「平等・開発・平和」を掲げて活動しています。とりわけ、憲法 9 条堅持の立場から、様々な要望書を提出して来ました。

5 月 1 日、アメリカ連邦議会上下両院会議において安倍首相は『希望の同盟へ』と題し、12 項目にわたる演説をしましたが、そこに見られるのは「同盟国アメリカ」とともに歩んだ自負心であり、より強くアメリカとの同盟を求めるものでした。

しかも、未だ国会で採択されていない事柄をアメリカ政府に確約するという前代未聞の内容です。

「地域における同盟のミッション」の項で以下のように述べています。

【(前略)・日本はいま、安保安法制の充実に取り組んでいます。その実現のあかつき、日本は、危機の程度に応じ、切れ目のない対応が、はるかによくできるようになります。

この法整備によって、自衛隊と米軍との協力関係は強化され、日米同盟は、より一層堅固になります。それは地域の平和のため、確かな抑止力をもたらすことでしょう。戦後、初めての大改革です。この夏までに成就させます。(中略)、1 昨日、ケリー国務長官、カーター国防長官は、私たちの岸田外相、中谷防衛相と会って、協議をしました。いま申しあげた法整備を前提として、日米がその持てる力をよく合わせられるようにする仕組みができました。(中略)、それこそが、日米防衛協力の新しいガイドラインにほかなりません。昨日、オバマ大統領と私は、その意義について、互いに認め合いました。皆様、私たちは、真に歴史的な文書に、合意をしたのです。】

国会の審議を経ていない段階における首相のこの発言に驚きと憤りを禁じ得ません。

また、5 月 5 日、二階俊博自民党総務会長は、この演説について「国際的な約束事であるから守らねばならない」という旨の発表をしています。

国会審議よりもアメリカでの演説を重視した発言です。

国会を蔑ろにし、国民を愚弄している政府の姿勢がより一層明白になりました。これは民主主義の否定にほかなりません。

さらに、この演説内容を実現する第 1 歩として、5 月 14 日には、新たな安保安法制に関する法案を閣議決定することがニュース、新聞などで報道され、国際婦人年連絡会として、直ちに「閣議決定に反対」の抗議をレタックスで総理大臣、関係閣僚に送付しました。

閣議決定後の記者会見で、安倍首相はこの一連の「新法制」について、「不戦の誓い」「国民の生活と安全を守る」などの美辞麗句で説明していますが、内実は、集団的自衛権行使の憲法解釈を変更してアメリカなどが起こす戦争に、いつでも自衛隊が参加することを可能にする、憲法前文と 9 条の平和原則を踏みにじるもので看過できません。

よって、安倍首相の講演、二階自民党総務会長の発言に強く抗議するとともに、5 月 14 日に閣議決定された「新安保安法制」の撤回を求めます。